

大地の恵みと絶景をPR

樹海の里 もりあげ隊



▲JA農協東山支所女性部の輝気太鼓で参加者をお出迎え



▲歩きながら大自然を満喫



▲グリーンアスパラの収穫と試食

「活動してから7年経過しましたが、これまでの取り組みに対して、みなさんから良い評価をいただいています。地域の魅力ある食材や景観を市内外へアピールしながら、地域全体のことを考えて活動していきたい」と、もりあげ隊は今後もさらに地域を盛り上げていきます。

「地域に住む人が減少する中、地域活性化のために何か取り組みたい」という思いから、東山

「地域に住む十数人の有志が集まり、東山地域観光振興実行委員会を設立。親しみやすい名称にしよう」と、樹海の里もりあげ隊に改名して現在活動しています。平成23年には、東山のふるさと祭りに合わせて開催するなど、地域の季節も楽しんでもらうためにフットパスを7月と10月開催。仕事の合間にメンバーがボランティアで活動しているため、現在は年1回の開催となっておりますが、「今後は秋や冬など、季節を変えながらフットパス以外の企画もいろいろ開催してみたい」と伊藤隊長は話します。

新たな企画を楽しむにしている参加者も多く、今年の6月に開催したフットパスバスツアー「大地の恵みフルコース」絶景を添えて」では、市内外から30人が参加。JA農協東山支所女性部による輝気太鼓が披露されたり、採りたてのグリーンアスパラやメロンなどが参加者た

ちに振る舞われ、中には「こんなに美味しいグリーンアスパラを食べたのは初めて」という声も聞かれています。また、樹海の里写真愛好会の協力により、記念写真をプレゼントするなど、たくさんのおもてなしで参加者を楽しませている樹海の里もりあげ隊。地域の「食」と「景観」を楽しんでもらうため、毎年企画などを考えるのが大変な反面「地元住民でも、なかなか行くことのない場所を周ることができるので、メンバーたちも楽しんで取り組んでいると思います」と伊藤隊長は話します。

東山地域全体を盛り上げようと、東山エリアにおけるフットパス（森林や田園地帯など地域に昔からある風景を楽しみながら歩くこと）を企画・運営している樹海の里もりあげ隊（伊藤幸一隊長）。市内外から多くの人たちが参加している樹海の里フットパスは、今年で7年目を迎えます。



▲甘いメロンに舌鼓